

# ひらおか

平岡地区町内会連合会  
 清田区平岡7条3丁目9-25  
 平岡地区会館内  
 ☎ 883-7100  
 発行責任者 大橋 良一  
 編集責任者 渡辺綱太郎

## 札幌市のゴミ事情

(二〇〇六年広報さつぽろ八月号参照)

札幌市は

### ゴミ処理に266倍 (一年間)使います

一人当たり約一万六〇〇〇円

札幌の皆さんが、家庭から出すゴミの重量比による内訳の一位は紙ゴミ、二位が生ゴミです。(平成十七年調べ)札幌市の「ゴミ埋め立て地」は、現状のまま推移しますとあと約十三年でいっぱいになります。ゴミの減量化への取り組みは家庭・職域・公共施設を問わず具体的な取り組みが急務です。

平岡では、「まちづくりセンター」を中心に、「ゴミの減量化を二〇〇四年からすすめてきました。

平岡地区

## ゴミ減量化推進事業について

平岡まちづくりセンター

所長 佐藤 博



平岡地区は、昭和五十年代から新興住宅地として急ピッチで開発が進められている地域であり、現在も未

利用地があることから発展を続けている状況にあります。地域内には平岡公園を代表として各種の公園など

緑地も多く、景観に配慮された地域であることから、住民の地域に対する愛着心も強いものがあります。

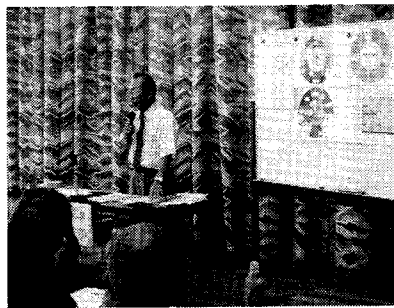
その一方で、他の市町村からの転入する新しい住民も多く、ごみの収集方法・廃棄方法について未徹底な部分もあるのも事実です。

また札幌市のゴミの廃棄ルールも細分化されてきていることからゴミに関する関心は高いはずですが、廃棄方法等について住民の十分な理解が得られていない傾向もあります。

これらのことから、平岡のまちを将来に向けて美しい地域として保持、発展させることを目的に、ゴミ問題を通じて環境問題に対する関心を高め、さらに、環境美化運動を通じて地域の連帯感を醸成するために平成十六年度より次の事業を行ってきています。

### 事業の概要

- ①ゴミに関する施設見学  
札幌市のごみ処理の実態を理解するために、清掃工場（篠路清掃工場、白石清掃工場）、リサイクル施設（中沼リサイクル団地内施設）などの見学を実施しました。
- ②ゴミに関する講演会



札幌市環境アドバイザーを講師に、「ごみの減量化。いま、私たちにできること。」

と題して講演を実施し、家庭、地域でできるごみ減量化を呼びかけました。

③フリーマーケット開催

資源の有効活用的重要性を楽しみながら体験してもらうことを目的として、平岡地区の住民を対象に屋内会場（平岡地区会館）にて

フリーマーケットを実施しています。



④エコクッキング教室

無駄な生ごみを出さないことを意識した料理教室を開催し、食材を使い切ることを体験してもらいました。

⑤ゴミステーション調査事業

ゴミステーション管理上の問題やその改善策などについて、各町内会に対してアンケート調査を実施し、その結果を各町内会へ周知しました。

⑥「平岡地区ゴミガイド」の発行

平岡地区周辺における蛍光管、プラスチックトレー、牛乳パック回収協力店などをマップにより紹介するとともに、ゴミ出しの基











新高齢者クラブ誕生

『梅寿会』六十余名でスタート

平岡「梅寿会」会長 榎谷 邦久



8/23.24 北村温泉28名の親睦旅行

私たちは、この春平岡パークシティ町内会に居住する六十才以上の希望する者で老人クラブを結成し、3月11日に42名の参加を得まして結成総会を成功させました。

かではあります。長い経験をもっています。皆さんで磨き合い、明るくて楽しいクラブづくりに励みたいと思います。今後とも、よろしくご指導ください。

結成と同時に、平岡地区「老連協」に加盟し、7月9日には清田区「老連協」にも加盟し既存のクラブの皆さんの仲間入りをする事になりました。よろしくお願いたします。

高齢者の人口が増える中、老人クラブの会員が減少傾向にあると聞きます。私どもは、細やかなサポートをしながら、高齢者の生活の質を向上させることに努めています。また札幌市と地域との様々な橋渡し役や地域活動を陰から応援しています。職員は私と素敵で有能な連絡員さん2人と3ヶ月が経ちましたが、平岡公園に象徴される緑豊かな住環境とそこに育まれてきた様々な地域活動がある



平岡まちづくりセンターへ異動してきて

平岡地区まちづくりセンター

所長 佐藤 博

ことを知りませんでした。そして様々な活動に取り組み方々の熱意を知り、私もその熱意に押されて毎日を過ごしています。微力ではあります。平岡のまちづくりのため少しでも貢献できればと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



平岡地区児童・生徒事故防止合同対策協議会

夏の防犯巡回指導

7月25日〜8月19日

今年も、「夏の防犯巡回指導」が実施されました。

目的は「多発傾向にある、犯罪をとまなう児童・生徒の事故に対し、地域ぐるみで未然に防止する活動を推進する」ことです。



南地区の方々



店内の巡視

8月も半ばを過ぎると、夜分の半袖は涼しすぎるほど冷ややかにあります。公園の花火族・商店等の徘徊など、巡回中の留意事項に触れることも少なく、今年も無事巡回を終えました。巡回補導に出向いた方々ご苦労さまでした。

子育てサロン

「プラムちゃんるゝむ」開設

平岡・福祉の街推進センター

彦 素 幸 夫

今年の6月より会場を平岡中学校の教室に移し、新たな雰囲気ですタートしました。

休み時間中の中学生と子育て中の親子、そして地域の高齢者の皆さんと3世代交流により「命の大切さ」「人と人との関わり合い」を通じ合える場が増えました。



キッズまつりのおみこし



中学生と交流

編集後記

ついこの間まで大汗をかいてふうふう言っていたと思いきや、朝夕の秋冷とも思わしき涼しさを感ずるようになりました。夏が過ぎ、また秋が来て……。いい季節です。

今回、「ゴミ対策」の取り組みを特集してみました。平岡でも取り組み始めてから六年を経ました。その経緯を、この度赴任されました佐藤博所長さんにまとめて戴きました。着任早々ではありましたが、丁寧に経過をまとめてくださいました。要は、生産機関・流通過程・家庭の処理法・資源化・廃棄部門など独自の工夫の進展は目に見えて活発にすすんでいることが分かります。

しかし、ゴミについての総体的悩みは環境問題ともかかわって奥深いものがあります。今大切なことは、地域それぞれのゴミに対する実践状況の交流こそゴミ認識を高揚するための良き起爆剤ではなからうか……と。

《渡辺》